

令和2年度 1月の補導活動

佐久市少年センター

- | | | |
|---|----------|------|
| 1 | 街頭補導実施回数 | 15回 |
| 2 | 従事補導委員数 | 39人 |
| 3 | 相談件数 | 0件 |
| 4 | 補導した少年数 | 0人 |
| 5 | 声かけ人数 | 194人 |



1月の補導日誌から

1月4日（月） 5班（K・T記）

巡回経路 大型スーパー → 市民交流ひろば → ミレニアムパーク
→ 佐久平駅 → 大型スーパー

補導の様子

正月休みで、大型スーパーは駐車場が満車になるほど混み合っていました。市民交流ひろばは、小さな子ども連れの親子でにぎわっていました。ミレニアムパークのプレイサークルには、小・中・高校生がバスケットボール・自転車等で楽しんでいました。佐久地域でもコロナウイルス感染者が増える中、どこへも行けぬ親子は清々しい空気の中で遊ばせたい気持ちなのかなと感じました。コロナが早く終息することを願うばかりです。

1月5日（火） 11班（U・K記）

巡回経路 県民佐久運動公園 → 野沢児童館 → 中嶋公園 → 原公園

補導の様子

コロナの影響が大きいのか通りに人の姿が少ない。各巡回場所では、児童館に13名が来館していたが、例年の1/3程度という人数であった。その他の場所では子どもたちの姿は全く見られなかった。原公園にある公衆便所の多目的トイレ内に煙草と認められる灰が落ちており、今までなかったことなので残念であった。

1月6日（水） 6班（K・M記）

巡回経路 大型ゲームセンター → ビデオ販売&書店 → ネットカフェ
→ ゲームセンター → 大型ゲームセンター

補導の様子

ゲームセンター2店舗を訪問したが、早い時間のせいかゲームをしている人は少なかった。夜になるとかなり多くの人利用するそうです。冬休みが終わりに近づいたためか子どもたちの姿はあまり見かけなかった。自転車に乗っている子どもも見受けられなかった。

1月7日（木） 専門補導委員 記

巡回経路 自動車教習所 → ビデオ販売&書店 → 稲荷山公園 → 白田児童館
→ 青沼児童館

補導の様子

初めて自動車教習所を訪問、所長に丁寧な応接をしていただいた。この時期の教習生は高校生が主であり、午後5時以降は30～40人程になり、高校三年生が自宅研修期間となる2月には、さらに集中すると伺った。高校生の行動は特に問題がない状況であり、教習態度も真面目であるとのことである。教習所と高校との関係は連携が十分取られていると説明があった。その後、ビデオ販売&書店に立ち寄り近況を伺ったが、問題はないとの返答であった。稲荷山公園には人影が見えなかった。臼田児童館では約40人、青沼児童館では20人が遊んでおり、両館とも3学期始業式後の授業を終えた児童が有意義な時間を過ごしていた。

1月12日(火)

学校訪問(中込中学校)

専門補導委員 記

概要

校長、教頭、生徒指導主事に丁寧に挨拶していただきました。コロナ禍の中で生徒が努力して頑張っている様子を伺いました。先生方が「コロナだからできた(できる)こと」という前向きな視点で、中学生へのきめ細やかな指導や支援にあたっていることが実感できました。情報交換では、不登校やいじめ、SNS等の問題を生徒の気持ちに寄り添った多面的な指導で、職員一丸となって対応されていることがよくわかる学校訪問となりました。地域の皆さんとの一層の情報共有をお願いしたいとのことでした。三学期の多忙な中、感染警戒レベル5への引き上げがされたので、緊急対応を行ない円滑な学校教育をすすめていることを伺うことができました。



1月13日(水)

専門補導委員 記

巡回経路 大型スーパー → 大型ゲームコーナー → ネットカフェ → 中佐都児童館 → 佐久平浅間児童館 → ねむのき公園 → 平根児童館

補導の様子

大型スーパーの客は少なめ。店内ゲームコーナーでは1人しか見かけませんでした。担当者は「利用者は激減です」という返答でした。ネットカフェは、休業中でした。中佐都児童館では館庭で6人の男女児童が元気にサッカーに熱中していた。佐久平浅間児童館では、利用児童は減少してきていると伺いました。児童が帰宅後、噴霧器で館内を消毒する予定という。平根児童館では、子どもたちは「相手のことを考えられるようになった」「体の弱い子のことを気遣うようになってきた」等、他の子どもを受容する変化が感じられたと伺った。

1月14日(木)

専門補導委員 記

巡回経路 東中学校区の通学路・東児童館・公園(新子田団地内・鼻顔・若宮・宇とう)

補導の様子

東中学校の通学路を重点に巡回しました。中学生の姿は見かけませんでした。小学生の下校時間帯と重なり、大勢の小学生が家路に向かっていました。ほぼ全員がマスクを着用し、感染予防に配慮していました。歩道を歩いたり(中には走っている児童もいました)、歩道のない道路は道路の右端を歩いたりするなどきちんとした下校風景でした。東児童館には、1年生4名が来館しているだけでした。館長さんにお聞きすると「今日の利用申し込みは30名程。こ

れから2年生以上の児童が来館する」とのことでした。4か所の公園の様子を確認しましたが、どの公園にも子どもの姿は全くありませんでした。

1月15日（金）

専門補導委員 記

巡回経路 望月中学校通学路 → 望月児童館 → 若駒児童公園
→ 佐久良公園 → 駒の里ふれあいセンター → 大伴神社
→ 望月歴史民俗資料館 → 望月バスターミナル → 城光院周辺

補導の様子

協和、春日の通学路で帰宅途中の男子中学生に声かけした。受け答えやあいさつがとても素直で好感が持てた。望月児童館では、子どもたちが元気いっぱい外遊びをしていた。「県独自の感染警戒レベルが5に引き上げられてからは利用者が減り、例年の4分の1程度の利用になっている。」との話もうかがった。バスターミナルにはごみ等がなく、きれいに利用されている様子だった。

1月18日（月）

専門補導委員 記

巡回経路 カラオケ店 → 大型スーパー → 大型スーパー店内ゲームコーナー
及び書店 → ミレニアムパーク → 小田井児童館 → レンタル
ビデオ&ゲーム販売店 → バッティングセンター → 公園（曾根・
仙祿湖・久保田・ねむのき・近津南・若宮・一本柳）

補導の様子

カラオケ店と大型スーパー店内ゲームコーナーでは10人程の高校生を見かけました。話を聞くと、共通テスト翌日の自己採点日のため午前で授業終了になったとのこと。ミレニアムパークではスケートボーダー4人がおり、最近の様子を聞いた。小田井児童館は、利用する子どもは20人前後で変化していないと伺った。レンタルビデオ&ゲーム販売店では、密を回避するため子どもの希望を聞いて保護者がまとめて借りるケースが多いと伺った。公園の巡回をしたところ、仙祿湖公園ではネパールからの高校留学生在が写真撮影をしていた。久保田公園では寒風の中、下校途中の女子高校生2人がおり、最近の高校の様子を聞くことができた。他の公園に人影はありませんでした。

1月19日（火）

専門補導委員 記

巡回経路 佐久城山児童館 → 佐久総合運動公園 → 平賀新町公園
→ アベニュー佐久平チャイルドパーク → 成知公園

補導の様子

佐久城山児童館を訪問、低学年児童50名くらいが利用、これから高学年が来館とのこと。館内で遊ぶ子、庭で縄跳びやボール遊びをする子でにぎわっていた。佐久総合運動公園は、「1月24日まで一般の利用停止」との掲示があり、工事関係者以外誰もいなかった。平賀新町公園・アベニュー佐久平内のチャイルドパークにも利用者はいなかった。成知公園には児童3名が東屋で話をしていたほか、男子中学生が1人でサッカーボールを蹴って遊んでいた。男子中学生に「暗くなる前に帰ろうね」と声かけすると直立不動の姿勢で「はい、分かりました」と気持ち良い返事が返ってきた。



1月20日(水)

専門補導委員 記

巡回経路 橋詰公園 → 臼田駅 → 下越児童館 → 下越公園
→ 臼田図書館 → 稲荷山公園 → 下の宮児童公園 → 城山公園

補導の様子

臼田駅で、駅員さんに話をうかがった。5～6年前とは打って変わり、いたずらをするような生徒はいないという。また、高校生の電車利用は1日20名ほどと少ない。あいさつもきちんとできる子が大半のようで好意的に話して下さった。下越児童館では、10名の児童が利用していたが「今日は多い」という。いつもは5名程度のような。2階の遊戯場から元気いっぱい遊んでいる声が聞こえてきた。下の宮公園では小学生が6名、城山公園では中学生6名が寒い中、追いかっこをしたり話をしたりしていた。話しかけるとみんな屈託なく答えてくれた。



1月21日(木)

学校訪問(臼田中学校)

専門補導委員 記

概要

コロナウイルス感染拡大防止のため、専門補導委員のみで臼田中学校を訪問しました。教頭と生徒指導主事の先生から生徒の様子についてお話がありました。全校生徒310名、十分なコロナ対策を講じ、3月には欠落なく100%の授業日数が確保できる予定とのことでした。不適応傾向の生徒には校内の中間教室での対応、SNSの問題に対しては全校での講演会が開催できなかったが担任がクラスで指導するなどの対策を講じているとのことでした。生徒会は、3年生から2年生にバトンタッチ、生徒は学校教育目標『信頼される人になる』の下、落ち着いた状況の中、新年度に向けて頑張っているとのことでした。

1月22日(金)

専門補導委員 記

巡回経路 浅間会館 → 王城公園 → 中央公園 → 岩村田公園
→ 岩村田児童館 → 枇杷坂公園 → 岩村田駅 → 若宮公園

補導の様子

岩村田児童館では、昨年はこの時期160人くらいの利用者がいたが、今年は40～50人。県独自の感染警戒レベルが5に上がったことによる影響は感じられないという。以前から対応できる家庭はできるだけ利用を控えようとしていることがうかがえる。枇杷坂公園では、中学生が5人、高校生8人が学校帰りに話し込んでいた。中学生に話を聞くと受験間近で少し気持ちが焦っているという。十分力を発揮して頑張してほしい。



1月25日(月)

専門補導委員 記

巡回経路 ボウリング場 → 中津橋公園 → カラオケ店 → あさしな児童館
→ 庄ノ上公園 → 高瀬児童館

補導の様子

ボウリング場の担当者から「特別警戒が出ているので利用者は少ない。子どもは家族と一緒に来る」と伺った。中佐都小学校及び浅科小学校の各学区の通学路で下校中の児童とあいさつを交わすことができた。カラオケ店では、本来なら少人数または1人での来店があるようだが、最近お客はほとんどいないと伺った。高校生は試験後に時々利用しているようだ。あさしな児童館では40人

程の利用があった。庄ノ上公園には子どもの姿はなかった。高瀬児童館では、10人程が館外で元気よく走り回って遊んでいた。活発な子どもの姿を見守る職員の眼差しが温かった。

1月26日(火)

専門補導委員 記

巡回経路 野沢中学校区通学路及び児童館(泉・岸野)、公園(成知・中桜井・
榛名平・前山地区運動・泉団地・城山)

補導の様子

主に野沢中学校区の通学路を重点に街頭補導を行った。成知公園には、幼児と母の親子1組がブランコで遊んでいた。寒いことや残雪でぬかるみが多いことが影響してなのか他の公園には人影がなかった。泉児童館は、1～2年生20名程が来館。3年生以上はこれから来館予定とのこと。岸野児童館は、低学年生が来館していたが、高学年生はこれから来館予定とのこと。庭で1年生の女児3人が元気よく遊んでいた。「寒くない?」の質問に「全然寒くないよ」と答えてくれた。「コロナにかからないようにね」に対し、「うがい・手洗い・マスク・三密を守っているから大丈夫」と答え、再び追いかけっこを始めた。

1月27日(水)

専門補導委員 記

巡回経路 中込児童館 → 切原児童館 → 臼田図書館 → 稲荷山公園
→ 下の宮児童公園 → 佐久総合運動公園

補導の様子

中込児童館では、館の内外から子どもたちの元気な声が聞こえてきた。どの子もみんな気持ちの良いあいさつを返してくれた。切原児童館は、利用者が10人台で推移しているという。外の広場にはまだ雪が残り、ぬかるんでいるので外遊びをしている子はいなかったが、館内で落ち着いた様子で過ごしていた。下の宮児童公園では、小4の男の子が女の子2人と宿題の算数をしていた。寒くても友達とやっていると楽しそうであった。佐久総合運動公園では、中学生が自転車で遊んでいた。帰るところに声をかけたが、はきはきと答えてくれて「いい子たちだなあ」と感じた。

1月28日(木)

専門補導委員 記

巡回経路 離山南ミニパーク → 下越公園 → 五稜郭公園
→ 田口児童館 → 臼田駅

補導の様子

離山南ミニパーク・下越公園を訪問するも誰もいなかった。五稜郭公園駐車場は、満車に近いほどの車両が駐車。公園内で遊ぶ人は皆無。様子を見てみると、田口小学校と田口保育園の児童・園児を迎えに来た保護者の車両であった。田口児童館を訪問、車から降車すると児童が駆け寄り「おじさん誰?」「何しに来たの?」と質問攻め。首にかけているネームプレートを見せると3年生の男児が「しょうねんせんたー せんもんほどういいん」と漢字を読んだ。学校でまだ習っていないと思われる漢字が読めたので「すごいね」とほめると嬉しそうにしていた。



概 要

校長・生徒指導主任の先生から学校の様子を伺いました。昨年、開校130周年を迎えられたとのこと。校歌は、大正14年に若山牧水を招き講演会を行い、その折りに『わか竹』の和歌を揮毫され、昭和37年に『わか竹』に曲をつけて校歌として制定されたとのことでした。校歌は、『5.7.5.7.7』の31文字で、おそらく日本で一番短い歌詞の校歌ではないかとおっしゃっておられました。校長は、「児童は素朴で純粋な子で、地域の人に支えられており地域の方に感謝している」とおっしゃられておりました。『かしこくやさしく たくましく』を学校教育目標として、毎朝の朝マラソンを行うなど小規模校の良さを生かした活動をしているお話をお聞きしました。

◀1月の補導を終わって。 専門補導委員▶

その年の世相を漢字一文字であらわす「今年の漢字」、昨年は『密』でした。新型コロナウイルス感染防止のため、学校や児童館をはじめ様々な場面で3つの密、三密を避けての行動をしてきました。

しかし、残念ながら新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、流行の第3波が押し寄せました。少年センターでは、佐久圏域の感染が拡大している状況を鑑み、1月7日から補導委員の皆様による街頭補導巡回や学校訪問(中込中・臼田中・岸野小)は中止させていただき専門補導委員のみで実施しました。一時、当市は感染状況を6段階で示す感染警戒レベルが「5」(特別警報Ⅱ)に引き上げられました。2月1日現在、感染警戒レベルが「3」に引き下げられ、感染者数も減少していることから2月8日より、再び補導委員の皆様と専門補導委員による街頭補導活動を再開する予定ですのでよろしくお願いいたします。

さて、2月には、通常の街頭補導活動の他に

学校訪問

4日(木)望月小学校 (専門補導委員のみで訪問しました)

18日(木)浅科小学校 (19班)

が予定されています。午後4時から開始しますので、学校に直接お越しくください。

なお、

12日(金)街頭啓発活動(2班) は中止

になりましたのでお知らせいたします。

人々が互いに親しく睦あうという意味だとされる陰暦の月名『睦月』(1月)から寒さのために着物を更に重ね着る『衣更着』から来たとされる『如月』(2月)となりました。コロナ禍で人と親しく関わりあうことが少ない昨今ですが、立春が過ぎ暦の上では春になりました。しかし、まだまだ寒さが身に染みる季節です。補導委員の皆様には、寒い中の街頭補導活動となりますがよろしくお願いいたします。

